えんちゃん新聞

発行元
平成 30 年　7月　発行
第 35 号
社会福祉法人　亀鶴会
偕楽園
特別養護老人ホーム偕楽園
〒874-0904
大分県別府市南荘園町 25 組
TEL ： 0977-22-2515

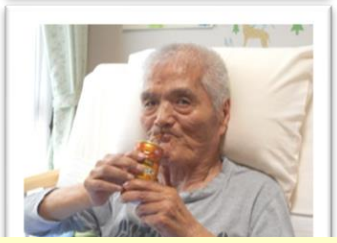
名前：えんちゃん
犬種：トイプードル
性別：男の子

お誕生日おめでとうございます

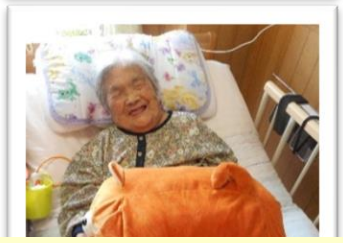
四月から六月にかけて、十名の入居利用者様が誕生日を迎えられました。七十五歳から、なんと最高齢は百四歳の女性です。事前にご本人に希望を伺い、それに沿ったお祝いをさせていただきました。当日は、担当職員が選んだプレゼントを贈り、喜ばれているご様子が伺えました。入居利用者様の笑顔に、私たち職員も幸せを感じます。おめでとうございます。

『いつまでも元気でね』

米寿を迎えました



嬉しくていつになくコーヒーがすすみます



プレゼントのぬいぐるみに笑顔が溢れます

季節の取り組み ～梅シロップ作り～

園内の梅の木に実る梅を収穫して、梅シロップを作ることが毎年の恒例行事となっています。利用者様が慣れた手つきで梅のヘタを取り、竹串で穴をあける様子が見られました。また、「早く飲みたいなあ」、「出来上がるのが楽しみ」等の言葉が聞かれました。

さくらユニット（ショートステイ）紹介

当施設は、四つのユニット（生活スペース）により構成されています。それぞれのユニットには、花の名前がつけられています。「ひまわり」「こうめ」「きんもくせい」が入所施設、「さくら」がショートステイ（短期入所施設）となっています。

ショートステイとは、在宅で高齢者を介護される方の介護負担軽減や一時的に介護が出来ない場合に短期間施設に入所し、日常生活全般の介護を受ける事ができるサービスです。

ショートステイでは日課として、朝は十時半から、昼は十四時半から三十分程度、様々な活動に取り組んでいます。主な取り組みとして「運動レクリエーション」、「身体の体操」、「頭の体操」、「音楽鑑賞」、「お茶会」等があります。

身体の体操

お茶会

誕生日

音楽鑑賞

ショートステイのご利用日に
100 歳のお誕生日を迎えました。

ひまわりユニット紹介

ひまわりユニットは、五名のスタッフが交代で、十名の入居者様の支援を行っています。向日葵のように明るくおおらかな気持ちで入居者様と接していこうと、スタッフ一同、日々の業務に取り組んでいます。

一人一人に合った個別ケアの充実を図っていくことが大切ですが、先ずは、入居者様の体調管理を一番に考えています。これから夏に向けて気温も上がり暑くなるため、十分な水分量が確保できるよう、飲み物のバリエーションを増やす等の工夫を行い、水分補給の強化を図っています。また、着る物や寝具の調整、居室内の温度調整等、細部にわたって意識を高め、入居者様が快適に過ごしていただけるように努めています。その上で、お話が大好きな方には、会話の機会を増やし、言葉を発することが難しい方や遠慮がちで職員に希望や思いを伝えることができない入居者様に対しては、何気ない普段からの様子にも注意を払い、些細な変化に気付き、対応できるよう努めています。また、ご家族や入居者様のご要望にお応え出来るよう、各自のスキルアップに努めています。

ベランダに植えた向日葵の
成長が楽しみです

今月の作品

折り紙細工『あさがお』

『習 字』

えんちゃん日記

夏用のマットを
買ってもらったワン

気持ちがよくて
すぐ寝ちゃうワン

職員募集

～ 私たちと一緒に働きませんか ～

●特別養護老人ホーム

◇介護職員（正）
① 7:00～16:00
② 13:00～22:00
③ 22:00～ 7:00
①～③のローテーション
・食事、介助、入浴介助、レクリエーション等

◇宿直
17:30～ 8:30
・巡視及び点検、記録業務施設犬の世話等

◇看護師（正）
① 7:00～16:00
② 9:00～18:00
③ 10:00～19:00
①～③のローテーション
・看護師免許（正・准）の何れか
・利用者の健康管理、医療機関との調整、受診対応等

◇看護師（パ）
① 7:00～11:00
・看護師免許（正・准）の何れか
・利用者の健康管理、医療機関との調整、受診対応等

●グループホーム

◇介護職員（正）
① 7:00～16:00
② 10:30～19:30
③ 16:30～ 9:30
①～③のローテーション
・食事、介助、入浴介助、レクレーション等

●ヘルパーステーション

◇ホームヘルパー
9：00～18:00 の間の２時間以上
・高齢者宅における身体介助、日常生活支援

● ご不明な点などございましたら、気軽にご連絡下さい。（担当：大山、塩田　22-2515）

トマトカップにポテサラ乗せ

栄養士おすすめ
超簡単！
元気メニュー

食材　トマト（器にします）
とろけるチーズ
ポテトサラダ
（じゃがいも、ベーコン、人参、マヨネーズ、塩、コショウ）

作り方
トマトをくり抜き（果肉はポテトサラダに入れます）、その中にポテトサラダを入れて、チーズをのせます。
トースターで５分～６分焼いたら、出来上がり。

リコピン（トマト）
生活習慣病予防や老化抑制効果

ビタミンC（じゃがいも）
抗酸化作用やアンチエイジング効果、美肌効果やストレス解消

社会福祉法人　亀鶴会
偕楽園

特別養護老人ホーム	グループホーム	居宅介護支援事業所	ヘルパーステーション
TEL:22-2515 FAX:22-2516	TEL:22-5553 FAX:22-5554	TEL:85-8561 FAX:22-5554	TEL:75-8816 FAX:22-5554

外部研修報告

●ボランティアコーディネーター研修会

参加者　介護支援専門員　金田　勝

平成三十年六月四日に大分県総合社会福祉会館にて行われた、ボランティアコーディネーター研修会に参加しました。ボランティア希望者を受け入れる一連の調整を行う施設側の担当者のことをボランティアコーディネーターといい、その一連の調整のことをボランティアコーディネーションと言います。

施設におけるコーディネーションとは、ただ利用者とボランティア希望者を繋ぐだけではありません。施設の理念をボランティア希望者に理解していただいたり、職員、ボランティア、利用者それぞれの思いを繋ぐことも含まれ、ボランティアをスムーズに受け入れ、意義あるものにするためには、このコーディネーションがとても重要となってきます。まずは、施設側が希望するボランティアの内容、利用者が望んでいるボランティアの内容を明確にしておくことが必要であり、それにより、互いに満足できるボランティア活動になっていきます。

施設の受け入れ態勢も重要であり、コーディネーター一人だけが関わるのではなく、施設全体や職員一人ひとりがボランティアの受け入れを理解し、取り組む必要があります。

利用者側とボランティア側、お互いの希望している内容などの情報を共有し、ボランティア活動に取り組みやすい環境作りを行うことが、充実したボランティア活動につながり、利用者様や職員にとってもより良い時間になるということを学ぶことが出来ました。

●トランスファー（移乗介助）研修会

参加者　介護職員　大林由貴

トランスファーを行う際に確認しておくポイントがあり、要点を押えることで事故防止と腰痛予防につながります。事故防止のためのポイントの一つ目は、ICF（国際生活機能分類）を把握し、リスクを掌握することです。二つ目は、体調面においての身体情報をトランスファー前に把握すること。三つ目は、環境情報を把握し課題と解決策を見つけ出すことです。事前にアセスメントを行うことで、力任せのトランスファーを行う必要がなくなり、ケガ等の事故防止につながります。

また、腰痛予防のポイントとして、腰の構造を知る必要があります。腰は筋肉の伸縮が大きければ大きいほど負担がかかる場所で、トランスファーの際は物理法則も視野に入れなければなりません。一つ目のポイントは体を大きく動かさない、二つ目のポイントは相手との距離を近づけること、そして三つ目のポイントは、体を急に動かさないことです。三つのポイントを押さえ、できるだけ楽にシンプルに、少ない距離と時間で移乗を行うことで腰痛予防につながるということを学びました。

内部研修報告

当施設では、毎月1回職員研修会を実施しています。外部研修会に参加した内容や旬のテーマを全員で共有し、利用者の皆様によりよいケアが提供できることを目的としています。

●四月のテーマ

『介護施設の方向性と職員の姿勢』

講師　施設長　井上俊男

世の中が高齢化社会へと変化する中、介護施設に求められるものも以前とは変わってきています。以前は、身体ケア中心と考えられ、施設に入居すると利用者は管理され単調な「あきらめ」の毎日の中で、自由を感じることが難しく、ポジティブよりネガティブな思考傾向になりがちだったといわれています。今、求められる施設は、利用者が他者（家族・職員・入居者）と良い関わりが持て、自分の存在価値を自ら納得し、残存能力を最大限に発揮できる施設です。そのためには、私たち職員自らが、自分の職種に求められる要求を的確に捉え、実践することが必要です。

●五月のテーマ

『感染症対策について』

講師　看護師　田巻里美

梅雨の時期に発生しやすい「食中毒」には、細菌性食中毒とウィルス性食中毒があります。症状として、下痢や腹痛、嘔吐、発熱等が挙げられます。軽度な症状から重篤なものまであり、高齢者介護施設等では、発生した場合、重症化しやすい為、早めの病院受診が必要です。

食中毒の予防として、細菌性の場合、「つけない」「増やさない」「やっつける」という3原則があります。ウィルス性の場合は「持ち込まない」「拡げない」が重要となります。また、基本的な対策として、手洗いをしっかり行う事も重要です。職員自らが感染源とならないように、正しい知識を持って、予防していかなければなりません。研修会で学んだ内容を共有しながら、万が一発生した場合は、マニュアルに沿った対応が求められます。

●六月のテーマ

『認知症の方への対応』

講師　施設長　井上俊男

認知症の方は、多くの不安を抱いて日々の生活を送っています。徘徊、騒ぐ、暴力、暴言など周囲の人を混乱させる行為も本人にとっては、不安を解消するための行動です。

例えば、「財布が無くなった。盗られた。」と言われたら、反論するのではなく、本人様の話を聞き、一緒に探す動作を心がける。また、お茶やお菓子で一服し、関心を逸らすなど、その場面にあった対応が必要です。多くの対応事例が挙げられていますが、必ずしもベストマッチするとは限りません。その方の性格や価値観、また生活暦を把握した上で、気持ちや感情の動きに寄り添う事が求められ、あわせて、医療側（心療内科等）からのアプローチも必要になります。

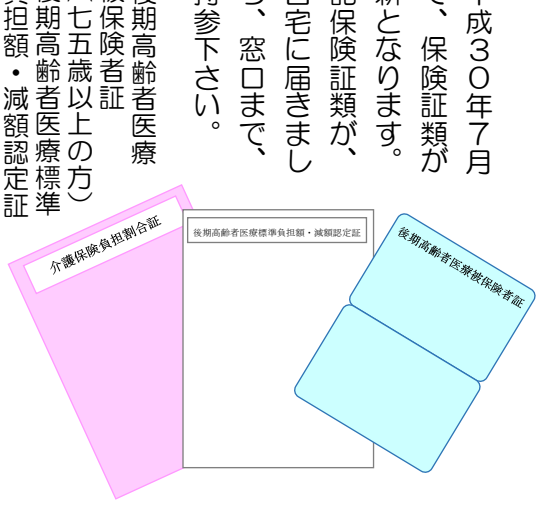
お知らせ

平成３０年７月末で、保険証類が更新となります。左記保険証類が、ご自宅に届きましたら、窓口まで、ご持参下さい。

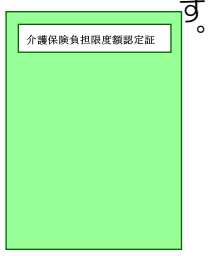
◇後期高齢者医療被保険者証（七五歳以上の方）

◇後期高齢者医療標準負担額・減額認定証（白色）

◇介護保険負担割合証（ピンク色）



併せて、【介護保険負担限度額認定証（黄緑色）】も更新となります。



こちらは更新手続きが必要となります。ご家族が直接市役所高齢者福祉課の窓口で申請する、もしくは施設で申請を代行致します。

《手続きに必要なもの》

- 申請書
- ご本人の印鑑
- 介護保険被保険者証
- 年金等が入金されている通帳、または通帳の写し

（＊直近二カ月分の収支の動きがわかる記帳が必要です

＊ご夫婦の場合には、お二人分の通帳の写しが必要となります）

ご家族が申請をされる場合は、施設で介護保険被験者証をお預かりしておりますので、施設窓口にお立ち寄りください。確認のため、お手数ですが申請手続きが終了しましたら、施設までご一報下さい。

代行申請を希望される場合には、手続きに必要なものをご準備いただき、七月十五日までに施設窓口まで、ご持参下さい。ご不明な点などございましたら、金田、または阿南宛にお問い合わせください。

〇問い合わせ先：二二一-二五一五

編集後記

梅雨の庭を彩る紫陽花の季節もそろそろ終わりですね。紫陽花の花言葉が花の色によって違う事をご存知ですか。青色は「冷淡、無情、高慢、辛抱強い愛情」、ピンク色は「元気な女性」、白色は「寛容」。土壌の性質や咲いてからの日数で花色に変化があることから、「移り気」という花言葉も持ち、結婚式などでは敬遠されてきました。ところが最近では、小さな花の集まりから、「家族団欒・家族の結び付き」をイメージできるとして、ジューンブライドの演出を担っています。考え方ひとつでマイナスもプラスに転じます。紫陽花のように身を置いた環境で自分の色を出し、周囲を癒せる人になりたいものですね。

さて、紫陽花の季節が終わったら、夏本番です。３ヶ月予報では、平年同様に晴れの日が多いそうです。栄養と質のよい睡眠を心がけ、猛暑に備えましょう。